

【彫刻作業工程の定義】

印章を作成するには、大きく① 字入れ・② 荒彫り・③ 仕上げの3工程を経て作られる。この工程を全て手仕事で行うか、機械を使用するかによって「手彫り」・「手仕上げ彫り」・「機械彫り」に彫刻作業工程を定義し、その詳細を下記の通りとする。

①【手彫り】

字入れ・荒彫り・仕上げの3工程を完全手仕事で行う。

荒彫りの工程に於いて、道具として、ペンシル型・大野木式彫刻機等一切使用出来ない。

字入れ・・・印面を紙やすりなどで平に整え（以下：印面調整という）、朱墨を印面に塗り彫刻する文字（逆字）を書く。

※紙に正字を書き、印面に転写する場合も可とする。

荒彫り・・・印刀を使用して完全手仕事で字入れしたものを彫る。

仕上げ・・・荒彫りした面を再度印面調整して墨を打ち、仕上げ刀で手仕上げする。

仕上げ終了後、文字や枠の土手を再度、印刀で削り取る。

【手仕上げ彫り】

荒彫りの工程に機械を使用し、字入れ・仕上げの2工程を手仕事で行う。

②■ペンシル型・大野木式彫刻機使用の場合

字入れ・・・印面を紙やすりなどで平に整え（以下：印面調整という）、朱墨を印面に塗り彫刻する文字（逆字）を書く。

※紙に正字を書き、印面に転写する場合も可とする。

荒彫り・・・彫刻機を使用して字入れしたものを彫る。

仕上げ・・・荒彫りした面を再度印面調整して墨を打ち、仕上げ刀で手仕上げする。

仕上げ終了後、文字や枠の土手を再度、印刀で削り取る。

③■光電式彫刻機使用の場合

字入れ・・・印面を紙やすりなどで平に整え（以下：印面調整という）、墨を印面に塗る。紙・フィルム等に彫刻版下を手で書く。

荒彫り・・・彫刻機に版下と印材をセットして彫る。

仕上げ・・・荒彫りした面を再度印面調整して墨を打ち、仕上げ刀で手仕上げする。

仕上げ終了後、文字や枠の土手を再度、印刀で削り取る。

④⑤■PC 彫刻機使用の場合

字入れ・・・印面を紙やすりなどで平に整え（以下：印面調整という）、墨を印面に塗る。紙等に手書きし、スキャナー等で取り込む。又はPCフォントを全面加工修正する。

荒彫り・・・PC 彫刻機に印材をセットして彫る。

仕上げ・・・荒彫りした面を再度印面調整して墨を打ち、仕上げ刀で手仕上げする。

仕上げ終了後、文字や枠の土手を再度、印刀で削り取る。

【機械彫り】

⑥ PC 内蔵フォントで字入れをし、文字の一部を手加工し、荒彫り後、仕上げ刀で手仕上げのもの。

⑦ PC 内蔵フォントで字入れをし、無修正のまま荒彫りし仕上げ刀で手仕上げのもの。

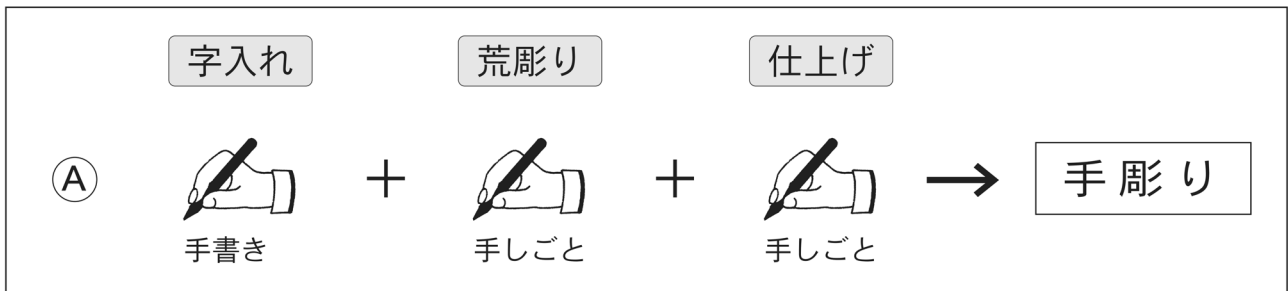
⑧ PC 内蔵フォントで字入れをし、無修正のまま荒彫りし未仕上げのもの。

※機械彫りFは同型印が出来る可能性があるため避けるべきであり、機械彫りG・Hは同型印が出来、且つ粗悪品であり受注商品として好ましくない。

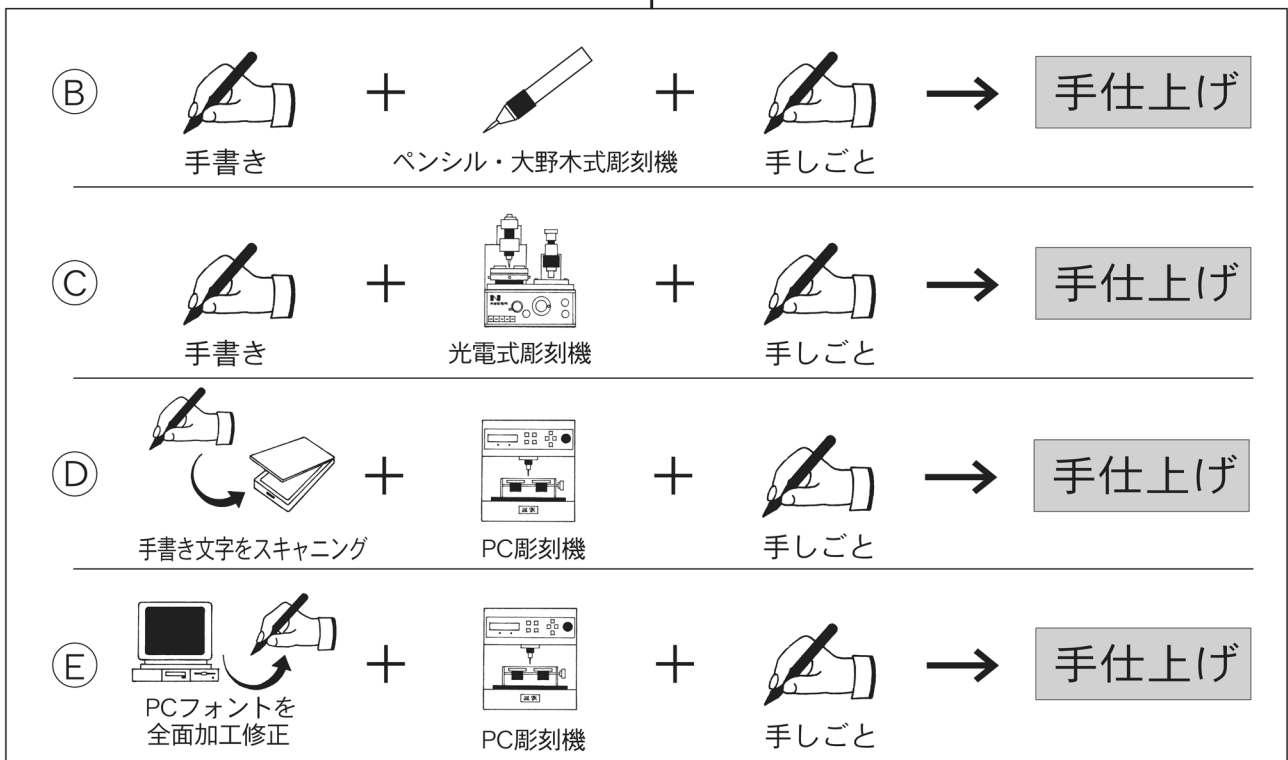
以上を、唯一無二の印章作成で字入れの重要性を重視し、綺麗な印章作成には完全手仕上げが不可欠であることに着目して定義として定める。

【彫刻作業工程の図表】

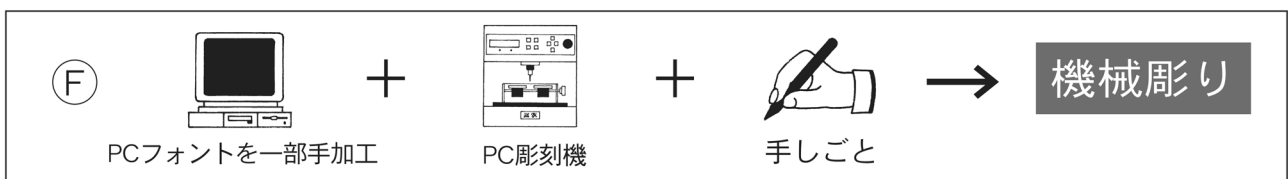
◎手彫り



○手仕上げ彫り



●機械彫り



▲機械彫り

